

地元参加者による
大小鼓連調・狂言小舞

半能
養老ようろう
水波之伝すいはのでん

狂言
茸くさびら

素囃子
獅子しし



能「羽衣」清水寛二

第25回

明野薪能

8月26日(日) 午後3時始

明野公民館大ホール イル・ブリランテ

主催 / 明野薪能実行委員会 後援 / 筑西市・筑西市教育委員会

■問い合わせ 明野薪能実行委員会 古田部 ☎ 090-3242-2578

入場
無料

能楽囃子大倉流大鼓
重要無形文化財総合認定保持者



第1回公演から
舞台をプロデュースする
おおくらのすけ
大倉 正之助さん

明野薪能は、桜の咲く時期に屋外で薪を焚いて上演していましたが、現在は、お客様にゆつくり見てもらいたいとホールで開催しています。それでも「薪能」という言葉を残したのは、自然の環境と融和した表現が能や狂言の基本にあるからです。

この薪能の見どころは、能舞台も市民が手づくりし、市民のみなさんが出演まで果たしてしまうところ。本来、能や狂言は身近な芸能でした。敷居の高い芸術鑑賞と気構えず、「近所のお子さんが出演するから見に行こう」くらいの気持ちで楽しんでいただきたいと思います。

普段の生活では触れることのできない、日本の伝統文化を身近に感じることが出来る明野薪能は、本当に筑西市が誇るべき文化に成長したと思います。次の世代に継承していくことが実行委員会や私の使命だと思っています。

ただいま
稽古の
真っ最中

たかさごや
このうらぶねに
ほをあげて

ハアツ

つきもろともに
いでぶねの

ハアツ



明野公民館の研修室から謡曲「高砂」にあわせ
て元気な掛け声と鼓を打つ音が聞こえてきます。
8月26日の本番に向けて、明野薪能の舞台に立
つ市民のみなさんの稽古が始まりました。

今年で25回目を迎える明野薪能。当代
一流のプロの演者ととともに市民も舞台に
立つことができる、これが明野薪能の最
大の魅力です。

今年も能舞台で演じることを楽しみに
していた市民のみなさん22人が集まりま
した。6月2日に始まった今年最初の稽
古では、大鼓奏者の大倉正之助さんか
ら、基本の姿勢や鼓の持ち方、声の発生
方法などの指導を受けました。

今年初めて舞台に立つ横田旺祐さん
(大村小2年)は、1年生のときに能・
狂言の体験学習で、大倉先生に大鼓を打
たせてもらい、その時の感触が忘れられ

去年は演者としても
舞台デビューを果たした

古田部 光文さん



明野薪能実行委員会委員長

薪能ファンのみなさんお
待たせしました。25回目の
明野薪能を開催します。

着実に力を付けてきた地
元のみなさんの演技とプロ
の演者の荘厳な舞台をご覧
いただきたいと思います。

去年は、私自身も舞台に
立たせていただきました。
改めて能楽師のみなさんの
すごさがよく分かりました。
今年は裏方に徹して最高の
舞台を準備します。みなさん
ぜひ足を運んでください。

今年も最高の舞台を準備してお待ちしています



能「土蜘蛛」で源頼光を
演じた古田部委員長

大小鼓連調「高砂」待謡



ないと参加を決めました。初日の稽古を
終えた横田さんは「どれくらい大きなか
け声を出せばいいのか、まだよくわから
ないけど、鼓を打つのはとても楽しい。
がんばって練習していきたい」と大舞台
に向けての抱負を話してくれました。

指導にあたっている大倉さんは、「舞
台に上がる者の使命は、お客様に元気を
与えること。うまい下手ではなく、一生
懸命やっている姿に見る人は感動するも
の。精一杯大きな声を出していこう」と
参加者を励ましていました。

また、狂言のコースは、和泉流狂言方
の野村太一郎さんが指導にあたっていま
す。子どもたちだけの狂言小舞「宇治の
晒」と狂言「盆山」に加えて、今年はプ
ロが演じる狂言「茸」に、「茸(きのこ)」
の役で登場する予定です。山伏が呪文を
唱えるほどに数を増して動き回る子ども
たちの愛くるしい姿をご覧ください。